

# 下松市・記者発表（配布）資料

令和6年2月28日

部 課 名	連 絡 先 (直 通)
地域振興部 地域交流課	0833-45-1820
1. 件 名	「2024 Blacktown Junior International Challenge (ソフトボール国際親善大会)」 出場選手 市長訪問
2. 目 的	令和6年3月20日～25日にオーストラリアにて開催される上記大会へ出場する選手及び指導者が、出場報告のため市長訪問を行う。
3. 日 時	令和6年3月6日（水）16時30分～
4. 場 所	下松市役所4階 庁議室
5. 主催等	【主催】下松市
6. 内 容	1 出席者紹介 2 出場者あいさつ 3 市長あいさつ 4 激励金贈呈 5 写真撮影 6 交流（歓談）
7. 参加者 （敬称略） （予定）	<b>【花岡スポーツ少年団】</b> 6年生 風間 正翔（かざま まさと） 6年生 村田 美紅（むらた みく） 指導者 廣實 久司（ひろざね ひさし）※女子チーム監督  <b>【末武スポーツ少年団】</b> 6年生 高松 奏佑（たかまつ そうすけ） 6年生 本田 翔和（ほんだ とわ） 指導者 高松 学（たかまつ まなぶ）※男子チームコーチ  <b>【下松市】</b> 下松市長 國井 益雄 下松市地域振興部長 原田 幸雄 下松市地域交流課長 河村 敬良
8. その他	大会要項は別紙のとおり

## 2024 Blacktown Junior International Challenge 要項

1.目的 本大会はソフトボールを愛する日本・オーストラリア・ニュージーランドの小学生達がお互いの親睦を図ると共に、ソフトボールによる国際交流と、それらにより子供たちが国際人として育つことを目的とする。

2.主催 ソフトボール ニューサウスウェールズ  
 3.共催 日本小学生ソフトボール連盟  
 4.期日 令和6年3月20日(水)～25日(火)  
 5.会場 オーストラリア(ブラックタウン・オリンピックパーク)  
 6.参加チーム 日本・オーストラリア・ニュージーランド

7.競技規則 (1) 本大会特設ルールによる。  
 (2) 試合はリーグ戦方式とし、7回又は60分の制限時間とし、60分経過後は新しいイニングに入らない。  
 (3) 投手の投球距離は、男子(13.11m)、女子(12.19m)とする。  
 (4) 捕手はプロテクターは必ず着用する。  
 (5) その他、球場ごとの特設ルールは審判員が指示する。

8.審判員 球審 主催者が用意する公式審判員とする。(球審と2塁審の2名)  
 9.試合球 2号革製ボールとする。(主催者で提供)

10.開会式 8時30分から開会式を行う。

11.その他 (1) 本大会の受付は、球場入口の大会本部で行う。  
 (2) 本大会での選手等の負傷については、主催者は応急処置のほか責任は一切負わない。  
 (3) 本部の打順表にメンバーを書き入れ、審判員に30分前に提出すること。  
 (4) 先行後攻決定  
 ・両チームのキャプテン(そうでない他の選手の場合もあり)間でコイントス(ハッズ&テイル)により先行後攻を決定する。  
 ・いずれかのチーム代表がコインをトス、もう一方がコインが地面に落ちる前にコールする。(ハッズまたはテイル)。  
 ・コールしたとおりの面が出れば、コールしたチーム代表が先攻、後攻いずれかを選択できる。外れた場合はコイントスをしたチームが選択権を持つ。

(5) 試合前のフィールディングは行わない。  
 ・試合開始前の整列はなし。予定時間になったら後攻めチームから守備につき始める。  
 (6) 試合用具の検認は審判員が確認し、不要と認められたものは本部で預かり試合終了後返却する。

(7) ヘルメットは必ず着用すること。

(8) 胸パットは必ず着用すること。(捕手は打席に立つ場合必要であり、ユニホームの上から着用)

(9) ベンチ入りは抽選組合せ番号の若い方が一塁側。

(10) 各選手の健康管理はチーム代表者の責任において対応すること。

(11) 各自・各チームの出したゴミは必ず持ち帰ること。(会場にはゴミ捨て場がありません)

(12) 5ランルール  
 ・攻撃チームが同一イニング内に5得点をあげた時点で攻撃終了し、攻守が入れ替わる。

(いかなる状況に関わらず得点も5点で正式に記録)。

※審判は基本得点を一切カウントしていないため、5点目が入っても5ランルールのコールをしない場合がある。

※必要に応じて審判に同ルールの適用を促す(審判が得点状況を把握していないケースあり)。

【ケース1】

	1	2
先攻	1	1
後攻	2	

- ・2回表攻撃中に試合終了
- ・1回裏に戻り、後攻チームが2対1で勝利  
(勝敗に影響を与える為得点が加算されない)

【ケース3】

	1	2
先攻	1	3
後攻	2	

- ・2回表攻撃中に試合終了
- ・1回裏に戻り、後攻チームが2対1で勝利  
(勝敗に影響を与える為得点が加算されない)

【ケース5】

	1	2
先攻	1	2
後攻	2	1

- ・2回表攻撃中に試合終了
- ・1回裏に戻り、後攻チームが2対1で勝利  
(勝敗に影響を与える為得点が加算されない)

(13) 試合中の練習について

・バッテリー間で投球練習を試合中に行う事があるが、グラウンド内での練習は一切禁止。グラウンド併設の所定の練習場のみで許される。

※グラウンド内での練習はファールボールが直撃するなど怪我を伴う危険性があるためである。グラウンド内で練習行為が発覚した場合、審判団によりその場で注意喚起を促され、試合中断となる(試合進行の妨げ)

(14) オールスター戦

- ・試合はD1(メインスタジアム)
- ・オールスターゲーム直前まで、通常試合を行っているため、間際にならない様メンバー表の準備。
- ・試合時間は75分。(選手紹介場内アナウンス、国家斉唱等)
- ・呼ばれた選手は、ベンチより出て一礼して、観客席の向かって挨拶してから、ピッチャーマウンドに駆け足で向かい、バックネット&観客席に向かって3塁&1塁ベースに向かって、既に並んでいる選手にハイタッチしながら並んでいく。

【ケース2】

	1	2
先攻	1	1
後攻	4	

- ・2回表攻撃中に試合終了
- ・1回裏に戻り、後攻チームが4対1で勝利  
(勝敗に影響を与えないが得点も加算されず)

【ケース4】

	1	2
先攻	1	1
後攻	2	1

- ・2回裏攻撃中に試合終了
- ・2回表の得点が計上され、後攻チームが3対2で勝利  
(後攻チームの対抗勝ちとなる)

【ケース6】

	1	2
先攻	4	0
後攻	1	1

- ・2回裏攻撃中に試合終了
- ・1回裏に戻り、先攻チームが4対1で勝利